

令和6年4月22日 理事会第1号議案

 公益社団法人 武雄法人会
「令和5年度事業報告書」
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

◆事業活動の基本方針

武雄法人会は公益法人化13年目となる令和5年度も、地域における「税のオピニオンリーダー」として「よき経営者をめざすものの団体」を標榜すると共に、「会員の積極的な自己啓発を支援」し、「納税意識の高揚・向上」と「企業経営および地域社会の健全な発展に貢献する」という基本方針に則り、親会はもとより、青年部・女性部会の活動をより活性化させ、会員と関係団体さらには地域の皆様と協力・連携して各種事業活動を遂行してまいりました。

公益法人格としての社会的な立場に留意しつつも、会員組織としての二面性にも配慮しつつ活動を行いました。

とりわけ全国的にも、また県内においても会員数の減少に歯止めがかからぬ中、法人会の存在意義を根底から深く掘り下げ、会員のメリットの追及に力点を置いた、開かれた法人会として地道な活動に力点を置いてまいりました。

その結果、10年連続して今期も会員数の増強を達成することが出来ました。

次年度も引き続き常に武雄法人会の設立理念を根底に見据え、日々の地道な活動に邁進して活力溢れる法人会としての事業遂行に努力してまいりたいと思います。

◆主な事業報告

I, 公益目的事業関係

1, 税知識の普及を目的とする事業（公1）

小学生の頃より「税」に親しんで理解を深めて貰うべく、当会青年部・女性部会員で構成される社会貢献プロジェクト委員会を中心に、毎年武雄税務署管内の小学校の6年生を対象とした租税教室・税の絵はがきコンクールを開催しています。

今年度は令和5年6月1日に武雄市立朝日小学校(83名)、6月5日に嬉野市立轟小学校(25名)、6月6日に武雄市立山内東小学校(35名)、6月15日に鹿島市立浜小学校(21名)、の4校で合計164名の児童を対象に、夫々開催致しました。租税教室は税務署で「租税教室講師養成研修会」を受講した青年部の租税教育活動委員会会員の授業主導の下、アニメなども教材に使用しながら、税で支えられている社会の仕組みを判り易く教えるものです。また教材として全法

連が作成した税の啓発用漫画冊子「タックスファンドとけんた君」を、実施した4校の児童に配布、さらに武雄税務署にも租税教室のテキストとして合計2500冊を配布致しました。

さらに、女性部会が主体となって開催する「税に関する絵はがきコンクール」を上記の4校で実施、合計96点の作品応募が寄せられました。

例年通りに、武雄税務署署長様、統括国税調査官様、当法人会会長、女性部、青年部の部会員さんと外部の学識経験者を交え、厳正な審査の結果、武雄法人会会長賞・審査委員長賞・青年部会長賞・女性部会長賞を各校より1点ずつ、武雄税務署長賞を4校より1点選出し、入賞作品についてはクラスの規模により多寡がありますが、平均すると7~8作品を選出しております。尚、全応募作品の中より最優秀作品1点については県連審査会を経て九州北部法人会連合会審査へ提出しています。

それぞれの小学校の入賞作品については、女性部・青年部から部会員が出席して校長室等で表彰式を行い、賞状と記念品を贈らせて頂きました。さらに優秀作品については対象となった小学校の近くの金融機関、郵便局、学校に1か月程展示し、武雄税務署様の入り口に確定申告時から掲示をさせて頂いております。

また、納税貯蓄組合連合会が主催する中学生「税の作文コンクール」の作文審査を青年部のサポートを仰ぎながら、女性部会が主体となって実施しております。

今年度は管内中学校19校の内11校から応募がありました。3年生を対象として原稿用紙を配布し、夏休み明けに回収された応募作品は742編でした。納税貯蓄組合連合会 富永正嗣会長のご指導の下、税に関する独創的な体験、税に対する感謝や思いの表現力、文章の構成力、共感性など多角的な観点から採点を行いました。

第一次選考で20編の作文に絞り込み、選考の結果上位5編を入賞としました。

尚、上位2編の作文につきましては佐賀県連合会へ上申しています。

2. 税務知識の高揚を目的とする事業（公1）

（1）税務研修会

税務知識の習得は企業における、よりよき経営の必須条件であるばかりでなく、正しい申告納税制度を推進させることにも寄与する大切な仕事であることから、年に一回の割合で、武雄税務署と共催で、「新設法人説明会」を開催しています。

令和5年度は17社21名のご参加を頂きました。新設法人に対する法人会計の説明をDVD等で行いましたが、当会への入会アプローチが今後の課題であり、次年度はさらに相応しい取り組みを行いたいと思います。

また武雄税務署法人課税部門のご協力を得て、毎年四半期に一度の頻度で「決算事務説明会」を開催しています。令和5年度は5月40名、9月33名、11月8名、2月40名、合計121名の参加を頂きました。当会よりその際には全法連が策定した「税務コンプライアンスチェックシート・入門編」を配布して、その活用についての説明を致しました。

10支部にまたがる支部研修会は、例年武雄税務署各部門のご担当様などを講師にお迎えして地域毎に開催しておりますが、令和2年度より各支部で講師を選定して頂き5名の講師へ

お願いして研修会を開催致しました。講師とテーマは以下の通りです。①税理士法人 とみなが会計 税理士 富永正嗣氏「税と経営」税理士から診た経営者の姿勢と経営者の成功事例について ②井手社会保険労務士事務所 社会保険労務士 井手静雄氏「人生100年時代の分かれ道(ハウレンソウからザッソウへ)」「心理的安全性・世代間ギャップの正体・CSR・リスクリング」について ③司法書士法人 アドヴァンス 司法書士 土井大史氏「成年後見人制度について」 ④九州北部税理士会 武雄支部長 税理士 白川幸一郎氏「消費税インボイス制度について」 ⑤一般社団法人 鹿島デジタル社会推進協会 理事長 岩永信二氏「経営に役立つDX」～今、組織に必要な準備とは?～ 会員企業より220名、非会員企業より24名の合計244名のご参加を頂きました。

また、毎年11月11日から17日に開催される「税を考える週間」に協調する意味から、武雄税務署長様を講師としてお迎えして、当会より青年部会、女性部会会員及び武雄間税会との共催による合同税務研修会を開催し、古川博 税務署長様より「税務行政の現状と課題」と「税のよもやま話」と題して、ご講演を33名の参加で拝聴致しました。

11月8日の税を考える週間記念公開講演会は、読売テレビ報道局特別解説委員の「高岡達之氏」を講師に迎え「ニュースの裏側から見る日本経済のゆくえ」というテーマでご講演を頂きました。聴講者は、会員89名、一般46名、合計135名でした。

広報手段として当会会報誌、新聞掲載、チラシ配布、管内地域のケーブルテレビ各社で告知をお願いし、また当会ホームページにも掲載するなどして、広く一般の方々にも周知を図りました。

(2) 広報事業

税の広報誌として「ほうじん武雄」を毎年8月と1月の二回にわたり定期的に発行しておりますが、今年度も編集方針を「もっと身近な会報へ」と常に見直しを行い、会員企業訪問シリーズや、顧問弁護士、顧問社会保険労務士による専門知識の習得に結び付く連載随筆などの掲載、さらに法人会活動の写真を多く掲載し、レイアウトに工夫を凝らし、親しみ易くまた見易く致しました。また国が提唱するe-Tax(国税電子申告・納税システム、軽減税率の周知活動)の普及についても関連記事の掲載を行っています。今年度は、夏期67号・冬期68号を発行致しました。発行部数2100部のうち会員向けに1200部を発送し、市役所・町役場・金融機関・商工会議所・商工会などに一般向けとして900部を配布しています。また全法連発行の「ほうじん」は季報として年4回夫々1600部発行されておりますが、「ほうじん武雄」と同様に配布しております。

さらに、当会のホームページを利用した税の啓蒙活動につきましても、支部研修会、決算事務説明会、租税教室、税を考える週間などにおける活動状況を頻繁に更新して紹介し、広く情報公開しております。

3, 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業 (公1)

令和6年度税制改正に関するアンケート調査の実施については、当会税制委員会委員を始めとして、役員、九州北部税理士会武雄支部、青年部・女性部会員、一般会員からランダムに抽

出して本会より30社の回答を得ました。これらの意見を包含して、令和6年度税制改正要望事項の検討については、県連税制委員会により佐賀県単位会の総意として要望事項が取り纏められました。その意見集約された提言は法人会全国大会において、採択された要望事項が発表されています。

また、12月に当会の会長、税制委員長、事務局で令和6年度の税制改正提言書を、管内の自治体(武雄市・鹿島市・嬉野市)の首長・議会議長を訪問し直接手渡して、税制改正提言へのご理解と法人会活動へのご協力を要請致しました。

4、地域社会への貢献事業 (公2)

(1)公開講演会

5月24日の定時総会記念公開講演会は、野球解説者の「達川光男氏」を講師に迎え「達川式一流リーダーシップ論と育成術」というテーマでご講演を頂きました。聴講者は、会員125名、一般121名、合計246名でした。

6月16日の女性部会定時大会においては、講師に学校法人 旭学園 理事長 内田信子氏を迎えて、テーマ「人生100年時代の過ごし方」の研修会を開催しました。32名の参加でした。

また、6月19日の青年部会定時大会においては、講師に司法書士法人 アドヴァンスの土井大史氏を迎えて、テーマ「相続の手続きと新しい遺言書制度について」の研修会を開催しました。32名の参加でした。

(2)アルモニア管弦楽団演奏会の開催

令和5年度の地域社会貢献活動の一環として青年部・女性部会員を中心として、武雄市立朝日小学校(児童数約500名)と、武雄市立御船が丘小学校(3年生・4年生・5年生児童数約300名)父兄11名の総合計811名へ本物のクラシックコンサートを体験して頂こうと恒例の学校コンサートを開催致しました。

演奏会の冒頭青年部会員より「税の大切さ」などのショート講話を行い、福岡・佐賀のプロ演奏家集団アルモニア管弦楽団(代表 久原興民氏他12名)の素晴らしいクラシック音楽の生演奏を聴いてもらい、最後は管弦楽をバックに声高らかにそれぞれの校歌を合唱して頂きました。初体験だったという子供さんばかりで、フルートやクラリネット、トランペットやマリimbaなどの一つ一つの楽器を紹介されるプログラムに目を輝かせておられました。毎年開催して来て思うことは、普段は聴くことのできない生の管弦楽の素晴らしさは多感な児童・生徒さんの胸に響くことと思われ、とても意義深いものがあります。

(3)愛の献血運動

献血運動は、本会の社会貢献活動の一環としてこれまで継続事業として積極的に取り組んできましたが、今年度で25年目となり、地域の皆様に法人会の献血運動と定着するまでになりました。今年度は武雄市、鹿島市、嬉野市の3地区3会場で当会の女性部会など、延べスタッフ14名の動員で行い、受付者284名、採血者247名の実績でした。なお毎年、献血にお見えになった皆様には、当会より箱ティッシュ5箱・甘納豆・佐賀県米の新米などをプレゼン

トさせて頂いておりますが、今年度も大好評を博しました。

尚、赤十字事業の進展に永年に亘り寄与したとの理由で、佐賀県赤十字血液センター様より武雄法人会へ「銀色有功章」が授与されました。

(4)新作カレンダーバザー展へのカレンダー寄贈

毎年の年末に佐賀市で開催されている赤い羽根共同募金会主催の「新作カレンダーバザー展」に当会会員企業10社から募った168点の新作カレンダーを出品し、その売上金は県連を通して県内5単位会で集約され、その収益金を赤い羽根募金会へ寄付致しました。

(5)管内公共施設等への備品寄贈事業

地域社会への貢献事業として、管内公共施設等への備品寄贈を計画していることから、令和5年度は「加湿機能付空気清浄機」を鹿島市へ4台、嬉野市へ3台寄贈しました。寄付の目的は、市民が集う場所へ空気清浄機設置による除菌対策です。

令和6年度は杵島郡3町の白石町、江北町、大町町と藤津郡太良町への寄贈を計画しています。

5、地域企業の健全な発展を目的とする事業 (公2)

実務研修会(新社会人セミナー・パソコン教室)の開催

(1)新社会人セミナー

令和5年度と同セミナーのテーマは、「知って得するビジネスマナー」と題して「接客・接遇・電話応対」を実践的にセミナー形式で開催、管内企業の社員教育の一環と致しました。

今年度は会員企業より57名の参加を頂きました。講師の招聘では東京都より 道(株) 代表取締役 自覚真由美先生にお願いして好評を博しております。

(2)パソコン教室の開催

社員教育の一環として、パソコンスキルアップ「ワード」・「エクセル」の実践的なビジネス活用を目指した講習会を三日間連続して実施致しました。

講師に(有)イツデモ社長の田代真一氏を招聘して「ビジネスにすぐ使えるワード・エクセル」というテーマで、受講者は延べ72名の参加でした。

今回の特徴として初日は初心者を対象とした、電源入れからマウス操作・キーボード操作・入力等・簡単な文章作成等、2日目はビジネス文章の作成等・表計算・集計表作成等初級コース、3日目はグラフ・データベース・複数シートの操作等中級コース・関数を使って請求書・顧客住所録・賃金計算書作成等を設けたことでした。

またマンツーマンの講習なので理解しやすいと好評でありました。

II、収益事業関係

1、会員企業の福利厚生に関する事業 (他1)

法人会企業の企業保全と人材保障に備える法人会の福利厚生事業として以下の制度の普及拡

大を図りました。当会役員の関係団体との連携を強化継続中です。

- (1) 経営者大型保障制度の普及推進
- (2) ビジネスガードの普及推進
- (3) がん保険制度・医療保険制度の普及推進
- (4) 貸倒保障制度(取引信用保険)の普及推進

2, 会員支援のための親睦・交流等に関する事業 (他2)

(1) 青年部会視察研修・女性部会視察研修会の実施

① 青年部会視察研修

青年部会員同士の親睦交流の一環として毎年視察研修会を実施しています。

今年度は佐賀県立名護屋城博物館を視察し、13名の部会員が参加しました。

② 女性部会視察研修

福岡市の博多織工芸館並びにTASAKIへ視察研修を実施しました。

総勢14名の参加で会員同士の親睦交流を深め、絆を確認しました。

(2) 異業種交流会

大人数密集で飲食を伴うために、異業種交流会は見送りました。

状況を見ながら再開を計画していきたいと思えます。

(3) 法人会ゴルフコンペ

第9回武雄法人会会員向けチャリティゴルフコンペ

大会実行委員長山口健一氏の指揮の下、10月24日武雄嬉野国際カントリークラブで93名の参加により開催しました。当日は晴天に恵まれ、参加者全員日頃の練習の成果を遺憾なく発揮されました。今年度もチャリティーホールでの収益金50,000円を当会の会員でもある武雄市社会福祉協議会と嬉野市社会福祉協議会へ寄贈させて頂きました。令和6年度大会は11月に予定しております。

Ⅲ, 公益収益事業の詳細並びに会員、青年部・女性部会員、支部別会員、福利厚生制度の推移について

税知識の普及と高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業、地域社会への貢献事業、地域企業の健全な発展を目的とする事業並びに主催した会議、出席した会議、及び青年部・女性部会員の活動等の詳細につきましては、別紙の事業報告の付属明細書をご確認ください。

また、当会の会員数、青年部・女性部の会員数、福利厚生制度の推移につきましては、別紙グラフに掲載しておりますので、ご確認ください。